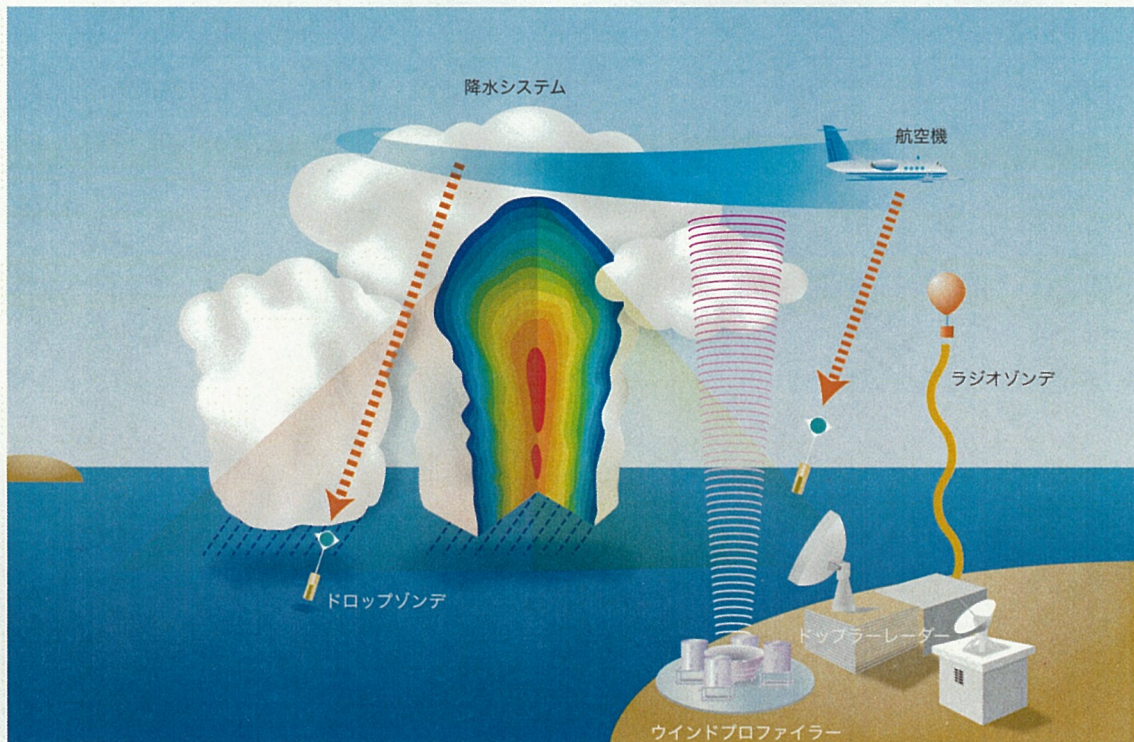


図3 航空機

積乱雲の周辺を高度8～12 kmで飛行し、雲内部及び周辺の温度・湿度・風を測定する。写真は観測に使用する予定の航空機。



図4 実施計画の模式図



注：ラジオゾンデ

上空の気温・湿度・風向・風速を測定する観測気球。ラジオゾンデ観測は米国海洋大気庁（NOAA）との協力の下、パラオ共和国コロール気象台によって実施される。